

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	V	施設の管理・運営	1次評価のみ対象分
コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	1029	河川維持経費	会計	01	一般会計	
基本施策	20	美しい川の環境を維持する	款	08	土木費	
施策	1	河川環境の保全・整備	項	03	河川費	
			目	03	準用河川改修対策費	
基本計画該当頁			細目	101	準用河川管理経費	
行革大綱の重点事項番号			細々目	06	河川維持経費	
基本計画該当頁		105	コード	753500		評価者
担当部課		名称	青山支所産業建設課		氏名	藤原 四郎
連絡先		52 - 3220		(内線)		直通

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	管内の市民	成果(どうなるのか)	河川水路への転落等の事故の危険性が低減される。
開始年度		平成 18 年度	関連事業	
終了年度		平成 年度	根拠法令・要綱等	
事業内容	浚渫工事及び防護柵修繕工事	状況変化等	計画的に実施している	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	( )
2 配置(予定)人員	0.2 人
3 年間運営費	955 千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
浚渫箇所数	箇所	目標	—	目標	—
		実績	—	実績	—
防護柵修繕箇所数	箇所	目標	1	目標	1
		実績	1	実績	1
		目標	—	目標	—
		実績	—	実績	—
		目標	—	目標	—
		実績	—	実績	—
		目標	—	目標	—
		実績	—	実績	—

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
浚渫箇所数	工事実施箇所数が、実績となる。	箇所	目標	—	目標	—
			実績	—	実績	—
防護柵修繕箇所数	工事実施箇所数が、実績となる。	箇所	目標	1	目標	1
			実績	1	実績	1

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	防護柵が、老朽化しており転落事故防止に必要である。また、河川堆積物が増大しており、環境保全及び防災上必要である。
有効性	4	転落事故防止、環境保全及び防災を図れる。
達成度	3	毎年、順次実施している
効率性	3	計画的かつ効率的な事業実施を図る。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	修繕の必要な箇所を的確に把握し、効率的な維持管理を実施していく。

年度	進捗状況	平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額
委託	⇔	委託料			(千円)	工事費			(千円)	工事費			(千円)	工事費			(千円)
					651				955				2,000				2,000
工事	⇔	工事費			934												
進捗率 (%)		事業費計(A)	Σ	1,585	事業費計(A)	Σ	955	事業費計(A)	Σ	2,000	事業費計(A)	Σ	2,000				
事業投入人員		人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.2	人	1,440
フルコスト (A)+(B)				2,305			1,675		3,440			3,440					

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	1,585	955	2,000	2,000
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
備考	特定財源の名称・補助基本額・率	1,585	955	2,000	2,000
	地方債の区分と充当率等	1,585	955	2,000	2,000